

周防亮介さん(ヴァイオリン) ヴァイオリンコンサート

2018年11月18日(日) 14:00
中目黒GTプラザホール

2018年10月27日(土)から11月18日(日)まで「聴く、見る、知る、創る。めぐろでARTを感じる秋」と銘打って開催された「めぐろオータムアート2018」。その最終日に周防さんのリサイタルが中目黒GTプラザホールで開かれました。

今回のプログラムでは、アンコール曲も入れると7人の作曲家の曲を演奏してくださいました。超絶技巧に目を見張る曲もあれば、また周防さんの表現の素晴らしさによってヴァイオリンの音色や旋律が心にしみ込む曲もあり、周防さんの強みを余すところなく披露された構成だったように思います。



めぐろオータムアート

周防亮介 ヴァイオリンコンサート

2018
11.18(日) 14:00開演
(13:30開場)
中目黒GTプラザホール

出演：ヴァイオリン：周防亮介
ピアノ：横田知佳

モーツァルト	ヴァイオリン・ソナタ第25番 ト長調 K.301
ヴェニャフスキ	華麗なるポロネーズ 第1番 二長調 Op.4
フォーレ	夢のあとに
ヴェニャフスキ	創作主題による華麗なる変奏曲 Op.15
マスネ	タイスの瞑想曲
パガニーニ	カプリス 第24番 (シューマン編)
サラサーテ	ツィゴイネルワイゼン Op.20

全自由席 1,000円 発売日 2018年9月5日(水)10:00

めぐろパーシモンホール ナットセンター
東京都目黒区八潮1-1-1
TEL:03-5701-3904 (info@mcg.jp)
http://www.persimmon.or.jp/

主催：「聴く、見る、知る、創る」事務局 目黒区文化振興局
企画・制作：めぐろパーシモンホール TEL:03-5701-3913

Copyright © persimmon hall

出演 ヴァイオリン： 周防亮介
ピアノ： 横田知佳

◆プログラム

モーツァルト： ヴァイオリン・ソナタ 第25番 ト長調 K.301
ヴェニャフスキ： 華麗なるポロネーズ 第1番 二長調 Op.4
フォーレ： 夢のあとに
ヴェニャフスキ： 創作主題による華麗なる変奏曲 Op.15
マスネ： タイスの瞑想曲
パガニーニ： カプリス 第24番 (シューマン編)
サラサーテ： ツィゴイネルワイゼン Op.20

◆アンコール曲：

パラディス： シチリアーノ

Q&A

メニューイン国際音楽アカデミーに留学後、1年が経ち、2年目を迎えた周防さん。とても恵まれた環境の中で日々、何を考え、何を学び、何を目標しているのでしょうか。周防さんに直接お聞きしてみました。是非ご一読ください♪

Q1. 今日のプログラムではアンコール曲も入れると7人の作曲者による曲を演奏して下さいました。超絶技巧の重い曲もあれば、美しく流れるような曲も。どういう事を考えて今日の選曲をされ、プログラムを組まれたのですか。

A1. 今回はランチタイムのコンサートでしたのでお客様がどこかで耳にされた馴染みのあるような曲を入れようと思い、ヴァイオリンの名曲を中心にヴィルティオーゾピースとショートピースをバランスよく入れました。

ソナタも軽めのモーツァルトにしたので、意外と曲数も多く大変でしたがお客様には楽しんでいただけたかなと思っています。

パガニーニのカプリスは普段は無伴奏ですが今回はシューマンが編曲したピアノ付きのカプリスを弾かせていただき、これまであまり人前では弾いてこなかったヴィエニャフスキの創作主題による華麗なる変奏曲など自分自身も楽しく演奏させていただきました。



©めぐろパーシモンホール



©めぐろパーシモンホール

Q2. 周防さんの演奏には、超絶技巧への驚きもあれば、透き通るように美しい音色や旋律が心に染み入ることもあり、聴かせどころが満載のように思いました。ご自分では聴き手に何を感じてほしいと思って演奏されていましたか。

A2. 聴いてくださる方々それぞれに感じ方は違うと思いますが、まずは演奏会を聴きに來て本当に良かったな、幸せだったなとか、またもう一度聴いてみたいと思っていただければ何より嬉しいことです。

自分の強みは「音」だと思うので自分の音でいろいろな想いを伝えたいと思って演奏しています。

お客様がすごい集中力でお聴きくださる空気を感じながら弾かせていただけたことは本当に幸せでした。

Q3. あるレポートに「表現する」という言葉を使っていたらっしゃいましたが、表現力は何から生まれるものだと思いますか。表現力を身に付けるには何を磨くべきだと思いますか。

A3. 表現力を身に付けるために特に何かをしている訳ではないのですが、先ずはその曲を深く知り、自分なりに何度も歌ってみることがとても大切なことだと考えています。

あとはテクニクな要素でも表現の幅はコントロールできると思います。

また、年齢を重ねる間に経験したり発見したりすることが大きく影響すると思いますので日々いろいろな刺激を受けることも大切だと思っています。

Q4. メニューイン国際音楽アカデミーに留学されて一年がたち、10月から新学期も始まったとのこと。留学1年目には何を得られたと思いますか。また、2年目に入り具体的に何を課題に挙げていますか。

A4. 昨年度はとにかく生活に慣れ、コミュニケーションを取ることが第一でしたので積極的に会話することを重きにおいていました。

それが良かったのか、ホストファミリーの方をはじめ、アカデミーの友達にもとても親切にしてもらい、環境はこれまでと全然違いますが気兼ねなく生活を送れていることに感謝しています。

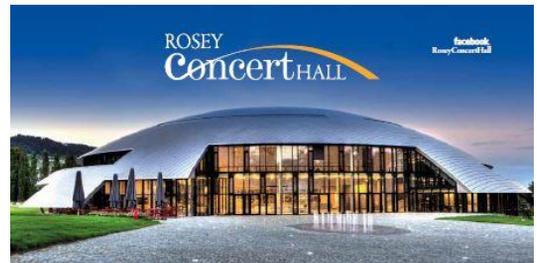
昨年度は日本との行き来の為に欠席することが多かったのですが、今年度はできるだけ欠席を減らしアカデミーの演奏活動に貢献したいと考えています。

Q5. マキシム・ヴェンゲーロフ先生はどんな方ですか。先生から何を得ていますか。どんなアドバイスをもらっていますか。

A5. 普段はいつも優しい笑顔と穏やかな雰囲気ですが、レッスンでは一音一音追求されとても厳しいです。

また何か辛い事や悩んでいることがあっても、先生からのお言葉は常に前向きで、『目の前の事が最終目標ではない、もっと先を見据えた時に、今日の前の小さなことなんて全く気にしなくていいんだ』とおっしゃってくださったこともありました。

きっとこれまで想像もつかないようなご経験を重ねてこられた事と思うので、先生のお言葉にはすごく重みがありその一言で何度も救われました。



Rolle, Suisse • Informations et prélocation : www.roseyconcerthall.ch



Partenaire média : LA CÔTE

(2019年1月22日(火))に開かれるコンサートのフライヤー、左下がヴェンゲーロフ先生。右から3番目が周防さん。メニューイン国際音楽アカデミーのHPより)

Q6.メニューイン国際音楽アカデミーではいろいろな国を訪れ、演奏されるそうですが、国によって聴衆の反応や、音楽の聴き方に違いがありますか。これまでの演奏会で特に心に残っている演奏会はありますか。

A6. 昨年度はスイス・ドイツを中心に回りましたが、どこへ行っても皆さんとても温かく、盛大な拍手や歓声など驚くほど興味を持って聴いてくださるのでとても気持ちよく弾かせてもらっています。

スイスではとても歴史のあるヴィクトリアホールでの演奏会や、ミュンヘンのヘラクレスザールなどでの演奏会は、素晴らしいホールで演奏できるという特別な感じがおり、いろいろと鮮明に覚えています。



©めぐろパーシモンホール

Q7. ヴァイオリンは弓と弦が触れ合って音が出るわけですが、その触れ方によって無限の音が生まれると思います。以前ご自分の強みは「音」と「色」だとおっしゃっていましたが、どのような「音」や「色」を生み出したいと思っていますか。

A7. 口答や文字にするのは難しいですが、自分にしか出せない独特の音色をまだまだ追求したいと思っています。音や色の幅をもっともっと増やしていきたいです。

昔の巨匠たちがそうだったように音を聴けば周防亮介が弾いているとわかってもらえるようになれば...それを目指しています。

Q8. 財団奨学生のみなさんに同じ質問をしています。一番幸せだなと思う時はどんな時ですか。自分を一番元気づけてくれるモノ(人、食べ物等)は何ですか。

A8. 日本食がとにかく好きで、和食の繊細さや見た目の美しさに魅了されます。

また、公演が無事終わり終演後にお客様からたくさんの嬉しいメッセージを頂いた時には清々しい気持ちと、これからまた新たに頑張っていこうという思いが溢れ、お客様の言葉やお手紙などは本当に有り難いです。

お寿司が一番好きなので本番終わりのお寿司は最高です(笑)

周防さんの回答を読んでいると、小規模ながら内容の充実した学校、心から尊敬できる先生、家族のような仲間、温かいホストファミリーの方々など、とても居心地のいい環境で音楽に集中されているようです。ただそんな環境を得ることができるのも、周防さんのヴァイオリンに対する真摯な姿勢、努力、感謝を忘れない人柄があったからだと思います。

素晴らしい環境の中でできるだけ多くのものを吸収し、音楽に活かし、聴き手に届けてほしいと思います。これからも応援しています♪

告知♪

周防さんは2019年のシャネル・ピグマリオン・デイズの5名のアーティストの一人に選ばれました！5名の中には江副記念財団現奨学生の北川千紗さんも選出されています。シャネル様のサイトには「今はまだ発展途上の彼らがりサイトを重ねるごとに成長を遂げていく軌跡を見守り、芸術を極めていく過程を体感いただけましたら幸いです。」とあります。来年は演奏を聴ける機会も増えます。来年が楽しみです！



(シャネル様のHPより)